

1. サプライチェーン排出量 とは?

企業にとっての自社の排出量とは？

- 「地球温暖化対策推進法」による算定・報告・公表制度の施行以来、企業の**自社の排出量**の把握が定着してきている。
- 排出量把握の定着とともに、自社の排出削減に対して企業が責任を負う、という考え方も一般的になろうとしている。

－ 自社の排出とは？

- 自社の燃料の使用に伴う排出（**直接排出**）
- 他社で生産されたエネルギーの使用（主に電力）に伴う排出（**間接排出**）

自社の排出量は「GHGプロトコル」において、
各々 Scope1、Scope2として定義されている

自社の排出から組織のサプライチェーン全体の排出へ

自社の排出量の把握・削減は進めてきたが・・・

- 排出量の把握・削減は自社の排出のみでよいのか？
- 更なる削減の可能性はないのか？



● 算定範囲を組織の**サプライチェーン全体**へ拡大

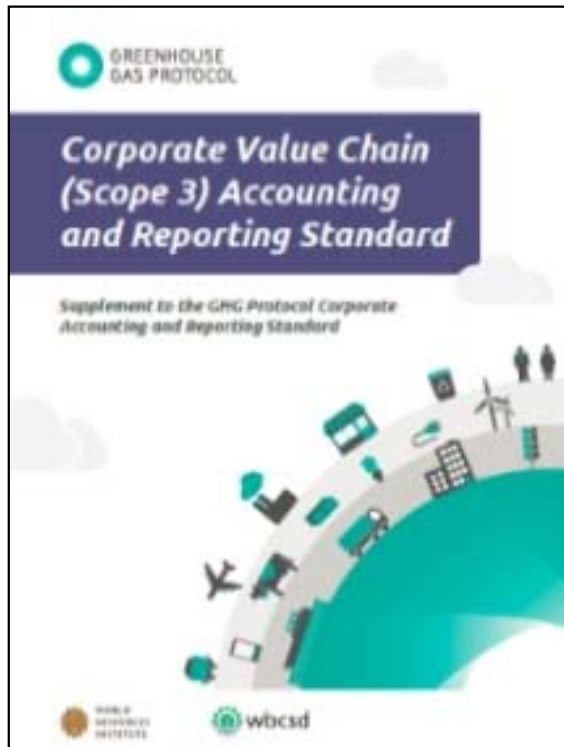
- 「サプライチェーン」とは、原料調達から製造、物流、販売、廃棄に至る、企業の事業活動の影響範囲全体のこと。

サプライチェーン排出量のうち、Scope1、2以外を、
「GHGプロトコル」は、
その他の間接排出量 = Scope3と定義。

⇒ サプライチェーンには、更なる削減の可能性が広がる。

Scope3とは？

- Scope3は具体的に、原料調達・製造・物流・販売・廃棄などの組織活動に伴う排出。15のカテゴリに分類されている。
- 「GHGプロトコル」が、算定・報告の具体的な要求事項やガイダンスとして「Scope3基準」を2011年10月に策定（同時に製品の算定基準も発行）。



Scope3基準
(組織LC GHG算定基準)



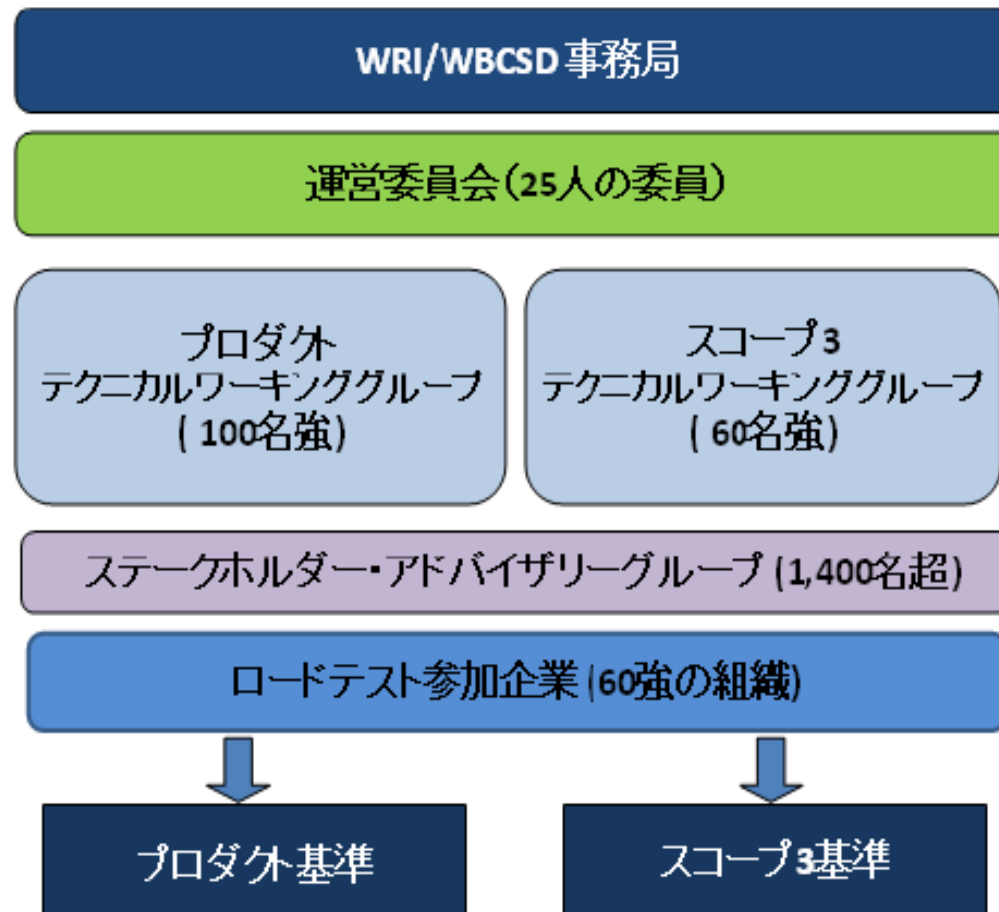
製品LC
GHG算定基準

Scope3の15のカテゴリ

1. 購入した製品・サービス
2. 資本財
3. Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動
4. 輸送、配送（上流）
5. 事業から出る廃棄物
6. 出張
7. 雇用者の通勤
8. リース資産（上流）
9. 輸送、配送（下流）
10. 販売した製品の加工
11. 販売した製品の使用
12. 販売した製品の廃棄
13. リース資産（下流）
14. フランチャイズ
15. 投資

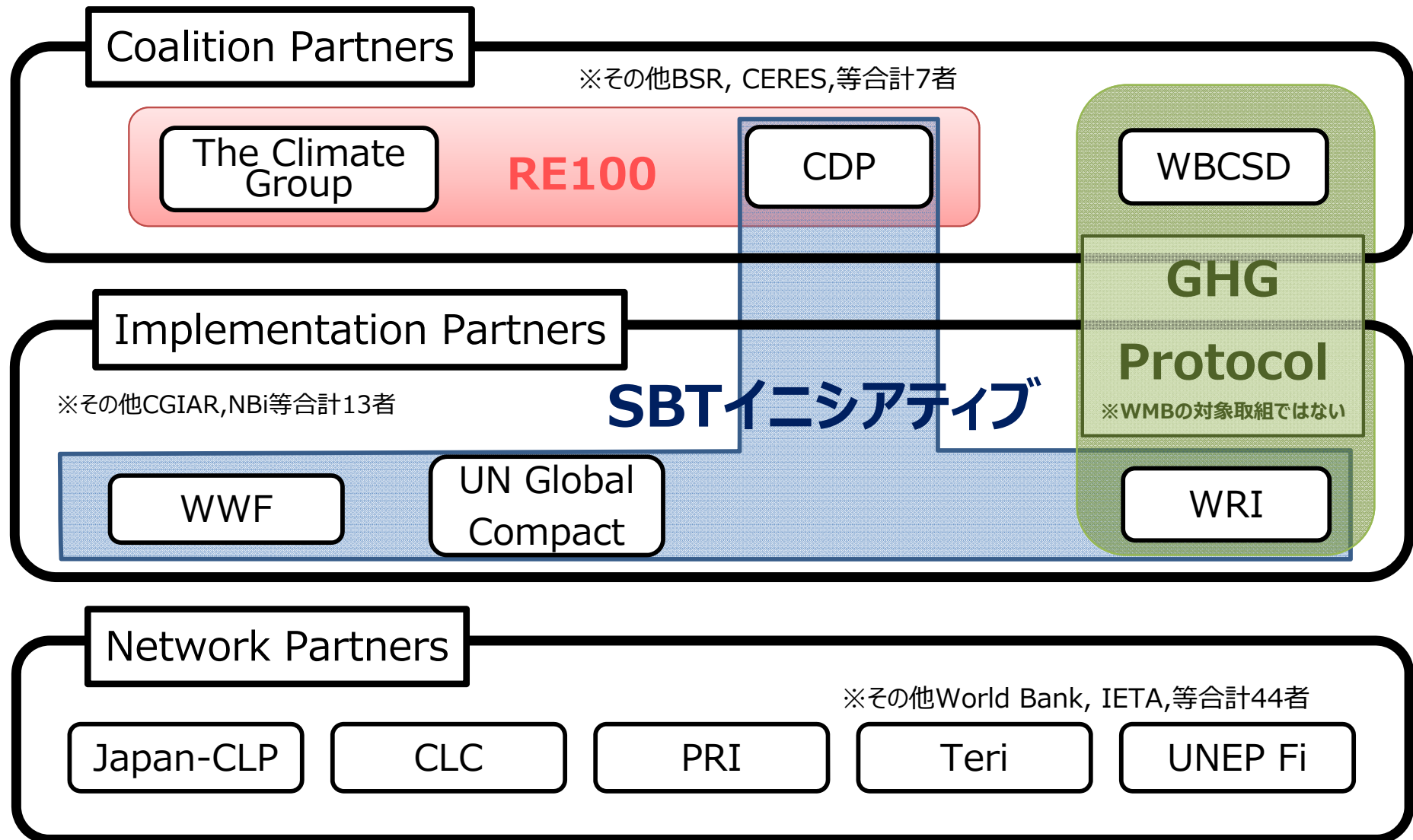
GHGプロトコルの概要

- GHGプロトコルは企業、NGO、政府機関の集合体。政府機関も深く関与。
 - 英国：Defra（環境・食糧・農村地域省）／米国：EPA（環境保護庁）／中国：国家発展改革委員会 など
- 中でも、米国の環境シンクタンクWRI（世界資源研究所）と、持続可能な発展を目指す企業連合体であるWBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）が主導的な立場。
- 国際的な利用促進を目指すためオープンなプロセスによって基準の開発を実施。検討結果である基準及びガイダンス等はHPで公開。

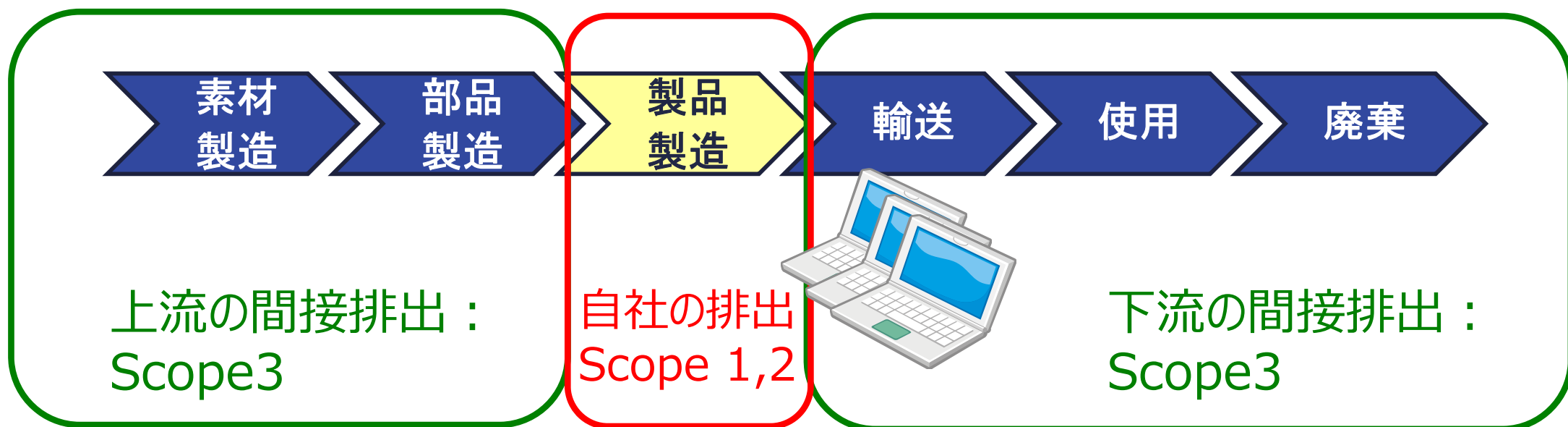


【参考】We Mean BusinessとSBT

- We Mean Businessは、企業や投資家の温暖化対策を推進している国際機関やシンクタンク、NGO等が構成機関となって運営しているプラットフォーム。構成機関は、このプラットフォームを通じて連携しながら、7つの領域で企業による取組12種を広める活動を推進。2019年3月26日現在、875の企業が参加。SBTは、企業取り組み10種の一つであり、SBTイニシアティブ（CDP等4機関が設立）もプラットフォームの1構成機関との位置づけ。



製品ライフサイクルでみるサプライチェーン排出量概念図



カテゴリ1：
素材・部品製造の排出
カテゴリ4：
輸送・配送（上流）に伴う排出
など

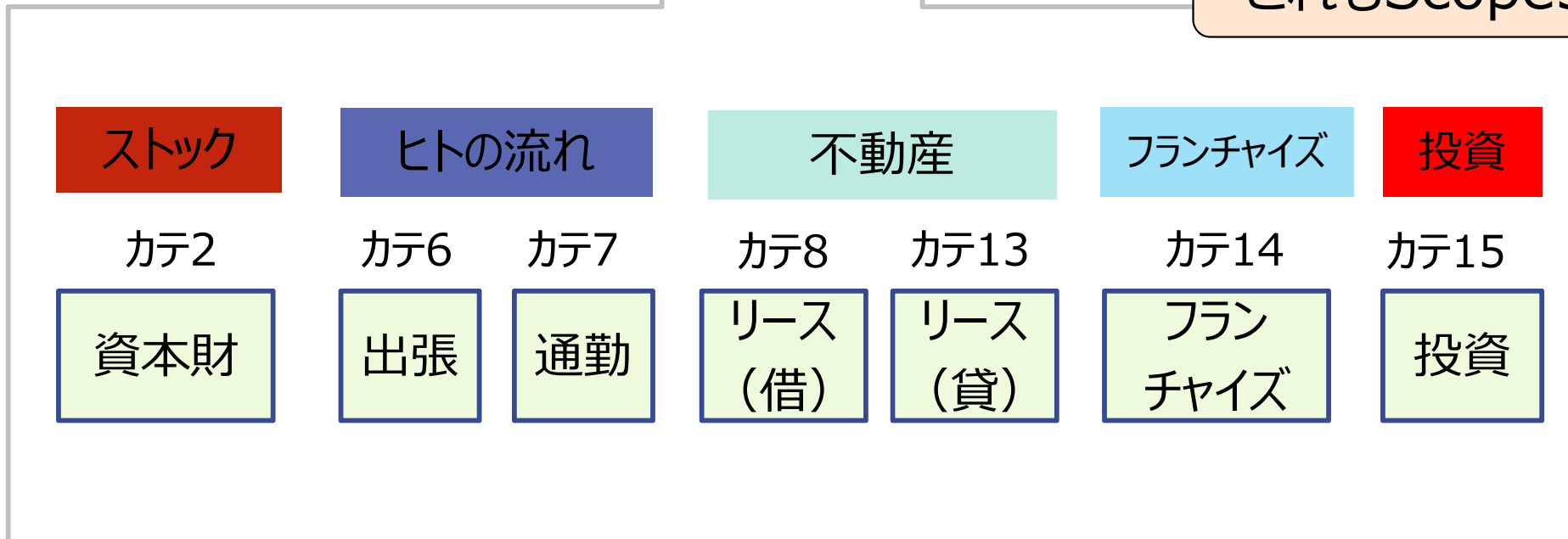
カテゴリ11：
販売した製品の使用に伴う排出
カテゴリ12：
販売した製品の廃棄に伴う排出
など

自社活動に関連するサプライチェーン排出量概念図



その他、事業を支える活動

これもScope3



自社の活動 : Scope3

環境省 基本ガイドライン

- グローバルスタンダードであるGHGプロトコル「Scope3基準」に整合したガイドラインとして、「**サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン**」を作成。

サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する
基本ガイドライン (ver. 2.3)

2017年12月

環境省 経済産業省

- 第1部 算定の基本的考え方

1. はじめに
2. 本文書の位置づけと使い方
3. 用語の定義
4. サプライチェーン排出量算定の概要
5. 算定の基本的考え方
6. 算定結果の活用方法

- 第2部 算定方法の解説

1. 自社の排出 (Scope1,2)
2. その他の間接排出 (Scope3)

出所：グリーン・バリューチェーンプラットフォーム
https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/GuideLine_ver2.3.pdf

サプライチェーン排出量 まとめ

■ サプライチェーン排出量とは、事業者自らの排出だけでなく、事業活動に関係するあらゆる排出量を合計した排出量。

● サプライチェーン排出量

= **Scope1排出量**

● 燃料の燃焼、工業プロセス等、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

+ **Scope2排出量**

● 他者から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

+ **Scope3排出量**

● その他間接排出（算定事業者の活動に関連する他社の排出）

● 15のカテゴリに分類